

第12期ナノ材委員会の議論の経緯と今後の予定

【令和 5 年度】

12月 1日 第 2 回

- ナノテクノロジー・材料分野の研究開発動向
 - ✓ 「ナノテクノロジー・材料の研究開発動向と今後の課題・論点」(JST CRDS 眞子様、永野様)
- 現在実施している事業における取組
 - ✓ 「マテリアルDXプラットフォームにおいてデータ創出を担うマテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) の取組」(ARIM PD 曾根様)
 - ✓ 「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト (DxMT) の取組」(DxMT PD 栗原様)

※「材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業 (Materealize) 」については、第 1 回で中間評価の審議において説明

1月19日 第 3 回

- 産業界における取組
 - ✓ 「トヨタにおけるマテリアルズインフォマティクス 材料データの相互利用と材料宝の地図」(トヨタ自動車株式会社 平田委員)
- 国立研究開発法人における取組
 - ✓ 「NIMSの取り組み」(NIMS 理事長 宝野委員)

3月 8日 第 4 回

- 社会からナノテクノロジー・材料分野に期待すること
 - ✓ 「マテリアル・ナノテクノロジーにおける国内外の潮流分析」(大阪大学産業科学研究所 関谷委員)
 - ✓ 「社会課題の解決に向けて、マテリアル分野に期待すること」(NHKエンタープライズ 堅達委員)

【令和 6 年度 (予定) 】

- | | |
|--------|--|
| 5月～7月頃 | ナノテクノロジー・材料科学技術の推進方策について議論 (第 4 回、第 5 回) |
| 夏頃 | ナノテクノロジー・材料科学技術の推進方策についてとりまとめ |